Quality for You
MUFG

日本銀行金融機構局　金融高度化センター
ワークショップ「銀行勘定の金利リスク管理の高度化に向けて」

コア預金（円貨）の設定について

三菱東京UFJ銀行
MUFG

総合リスク管理部
西端　啓

2009年6月30日

はじめに

▽　導入の背景

▽　検討のポイント

▽　コア預金認定の考え方

▽　コア預金の運営

▽　今後の課題

導入の背景①

- コア預金の認定開始（2005年）

  ⇒それまでは全額を短期の市場調達と認識

  ⇒モデルが分からない

  ⇒「保守的に」の運用

- でも実際は・・・

  ⇒流動性預金は大きくは減少しない

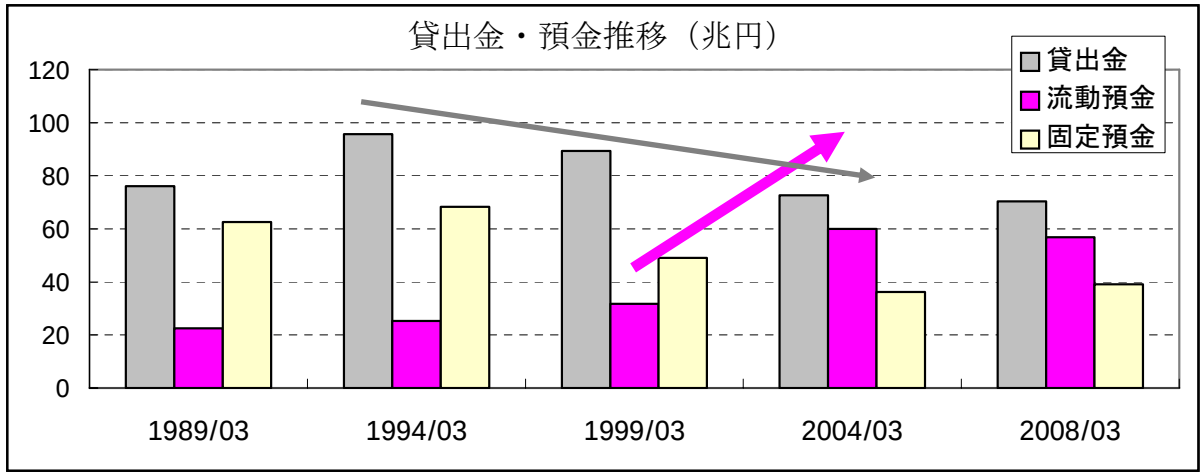
  ⇒感応度は非常に低い

  ⇒銀行の資金収益のぶれ要因（金利リスクでは？）

導入の背景②

Quality for You MUFG

- 流動性預金の大幅増加と預超B/Sへの変化



- バーゼル対応（金利リスクの管理と監督のための諸原則）

  ・経済価値の視点　と　損益の視点

  ・アウトライヤー　と　コア預金

  ⇒流動性預金のリスク特性を適切にALMに反映せよ！

検討のポイント

Quality for You MUFG

銀行自身の判断で！
しっかり説明を！

- どの様に金額を定めるか？

  ⇒マーケットスタンダードはない

  ⇒ 妥当性（説明力）のあるモデルを自らつくることが必要

- 金融環境

  ⇒未曾有の低金利。金利上昇時の流出リスクは？

- コア預金を長期運用すると？

  ⇒ 認定した残高は確保できるのか？

  ⇒ 想定した対顧客金利運営は可能か？

  ⇒ 債券の含み損益悪化リスクは？

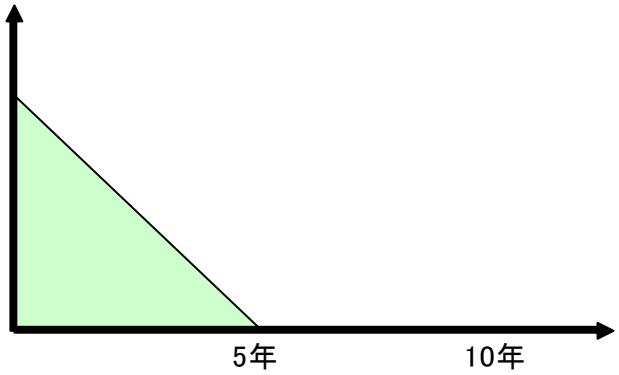
  ⇒「コア預金+運用＝リスク0」 ではない

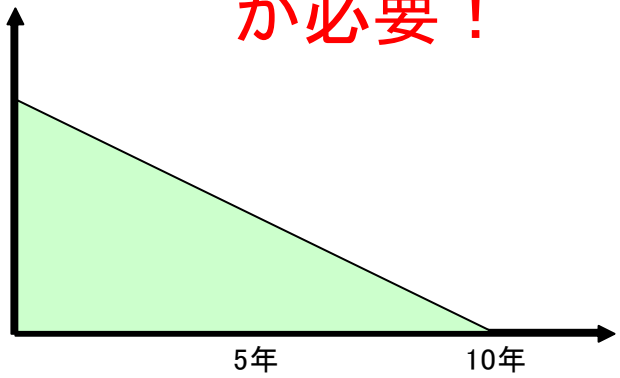
一般的な認定キャッシュフロー

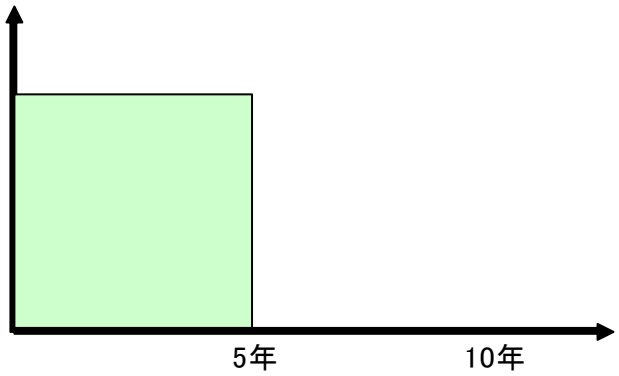
Quality for You MUFG

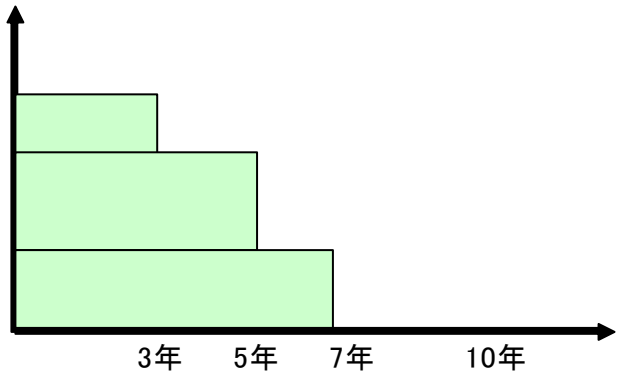
- 認定期間は5～10年
- ブレッド型　またはラダー型

いずれも認定期間に見合った過去データが必要！









コア預金認定の考え方①

Quality for You MUFG

- 対象とする預金

  ⇒ 当座・普通・通知・決済・貯蓄

- 認定キャッシュフロー

  ⇒ 期間5年の均等ラダー方式

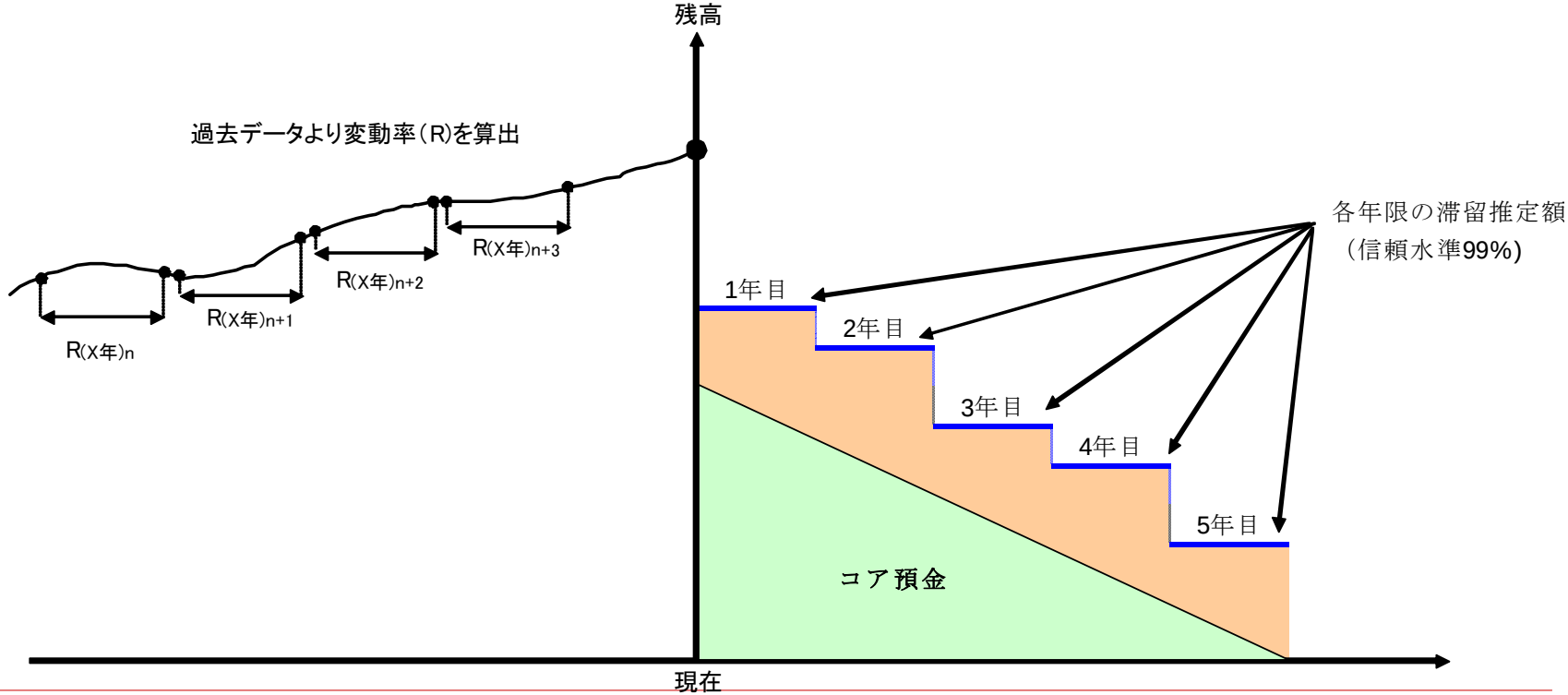
- 金額認定モデル

  ⇒ 過去データにより滞留率（信頼水準99%)を算定
  （個人・法人のカテゴリー別）

  ⇒ 市場金利に対する平均的な感応部分を控除

コア預金認定の考え方②

- 過去データから期間n年（n=1～5)の滞留率を算出
- 「マクロ預金動向」・「顧客部門による見通し」も評価
- 以上を考慮してコア預金を認定（下表の階段の下側）



コア預金認定の考え方③

Quality for You MUFG

- 流動性預金の市場金利に対する感応性は？

【過去実績】

（量的金融緩和解除前）普通預金で10～15%程度

（　　同　　解除後）普通預金で40%

- 今後の見通し、営業部門の戦略は？

【推計結果】

	推定感応度	残高
当座預金	0.0%	X,XXX億円
決済預金	0.0%	X,XXX億円
普通預金	40.0%	X,XXX億円
貯蓄預金	50.0%	X,XXX億円
通知預金	40.0%	X,XXX億円
加重平均	20～30％	X,XXX億円

コア預金の運営（ALM委員会等）

Quality for You MUFG

- 定期見直し（金額・感応度）
  - ⇒ 滞留率分析update 感応度分析update
  - ⇒ 顧客動向・マクロ経済環境・対顧金利運営方針検証
- 金利リスク運営
  - ⇒ Value at Risk
  - ⇒ 資金収益（NII）シミュレーション
- その他
  - ⇒ 関連手続類の整備
  - ⇒ 第三者によるモデル評価（外部コンサルなど）

コア預金の内部
モデルへの
挑戦はプラス！

今後の課題

Quality for You MUFG

- 認定期間の長期化

- コア預金分析モデルの高度化
  ⇒ 顧客属性等に応じたミクロ分析
  （Vintageモデルなど）

- 部門収益評価（スプレッドバンキング）への活用
  ⇒ 給与/公共料金など入出金パイプありの預金評価
  vs
  同入出金パイプ無しの預金評価

ありがとうございました

Quality for You MUFG

本日の講演内容、並びに、本紙に記載された内容・意見は、三菱東京UFJ銀行の公式見解を示すものではなく、また、ありうべき誤りについても、全て講演者（執筆者）自身に属するものである。

三菱東京UFJ銀行

総合リスク管理部
総合リスク運営グループ
西端　啓
03-3240-3067
kei_nishihata@mufg.jp